

「新庁舎を考える」について、市民の皆様からご意見を募集したところ、5件(5名)のご意見をいただきました。いただいたご意見及びご意見に対する市の対応について、公表いたします。

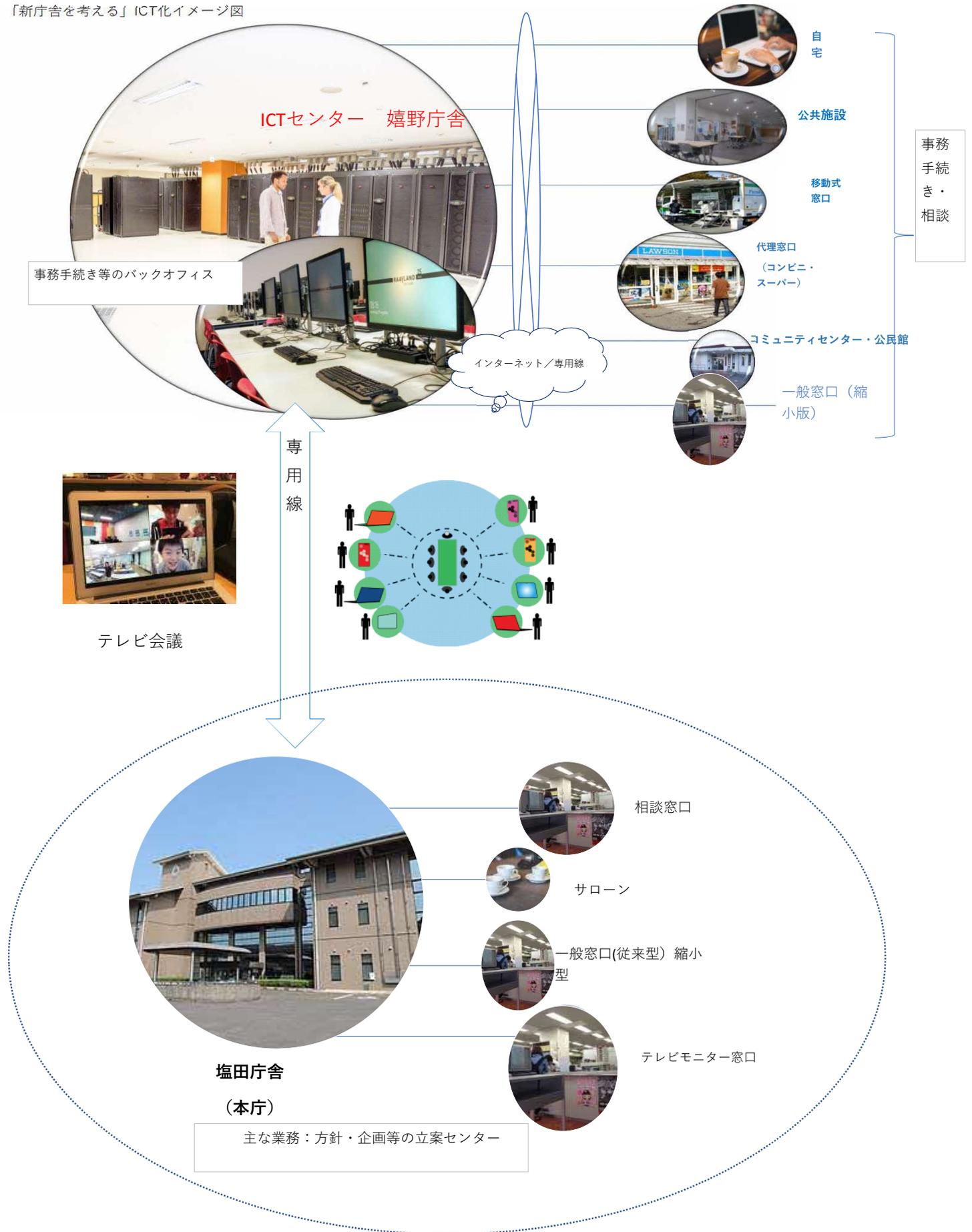
- 1. 意見募集期間 令和4年4月1日(金)から令和4年4月28日(木)
- 2. 公表資料 「新庁舎を考える」(市報4月号及び動画)
- 3. 周知方法 市報4月号、市ホームページ
- 4. 意見件数 5件(5名)
- 5. ご意見の内容及び対応 下記のとおり

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
1	<p>市役所の照明をLED直管蛍光灯やLED電球やLEDダウンライトやLED投光器を導入を行ってCO2削減と節電対策を行って、屋上には太陽光発電システムをして蓄電池装置も設置を行い、雨水利用システムを導入を行って屋上に降った雨水を雨水貯留槽に貯めて雨どい装置でろ過・消毒した後、トイレの洗浄水や植栽の散水や夏期の打ち水に利用をして、地震や台風時の断水時に非常用水として防災拠点になるように行って下さい。</p>	<p>嬉野市庁舎整備基本構想(案)の基本方針の一つに「環境にもひとにもやさしい庁舎」を掲げており、その中で「省エネルギー化や省資源化の推進、自然エネルギーの積極的活用などを通じて環境負荷の低減に寄与し、地球にもやさしい庁舎を実現します」とうたっています。具体的には基本計画を策定していく段階で防災面を含め、改めて検討していくことにしています。</p>
2	<p>市制スタート前に役場が2ヶ所あり塩田庁舎を本庁舎とするの考え方は、合併前の基本的な申し合わせ(国で言うと憲法)で方向性は確定したと思っていました。 しかし、現在はこの憲法を反故にして庁舎のあり方検討委員会は議論されている様に見えます。この憲法は市の条例・議会・市長の私的見解で、公的統一見解を曲げたり、見直したりは出来ないと思います。 これを見直すのであれば、まず全集落(集落集約でも可)で何故合併前の基本的申し合わせ(憲法)を見直したいのかを地区説明会を開いてその時の意見・要望をあり方検討委員会で諮問すべきだったと思います。 しかし、委員会は令和2年8月31日に市へ市庁舎整備基本構想(案)が出ていると市報「うれしの」4月号で報告されていますが、この構想については賛成できません。市内で年々地域格差を感じています。高齢化・人口減の中、市政のバランスを執るのも、財政厳しい折とは思いますが活力のある嬉野市に成る様に市長以下頑張っている事は承知していますが、庁舎のあり方検討委員会は物事の進めかたは「ボタン」の掛け違い・上から目線での執行の様に私には見えています。今後とも民意を汲み取る丁寧な意見集約・決定・執行を展開して下さい。</p>	<p>嬉野市庁舎整備基本構想(案)に関して、昨年8月から10月にかけて、パブリックコメント及び市民説明会を実施し、市民の皆様から多くの意見をお聴きいたしました。一方、市民の代表らで組織された庁舎のあり方検討委員会は、合併時の経緯等を含め、防災面・財政面・利便性など7つの論点ごとに、各々の優位性や課題を議論し、将来にわたり継続的に使用する市庁舎に関して取りまとめられました。新庁舎整備に向けましては、市民の皆様からご意見をいただく機会を状況に応じて設け、事業を進めていくことにしています。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
3	<p>現在の塩田庁舎は、出張所機能を持たせる方針で、各種届け出や証明書の発行の他、市民生活に直結する窓口サービスは全て継続される。</p> <p>また、新庁舎間とのネットワーク機能を活用し、行政サービスの向上を図っていき、空きスペースを有効に活用する案に、大いに賛成致します。</p> <p>客観的に考え、新幹線駅が作られる中で、当然ながら新幹線駅を中心とした周辺が、街づくりで活性化される事と思えます。</p> <p>新庁舎も新幹線駅に近い、現在の嬉野庁舎場所に新築されるのが、当然の判断と考えます。</p> <p>将来の嬉野市財政を考慮し、早急に合併特例債の活用をすべきで有ります。</p> <p>近隣で、平成合併をしなかった市の財政は、非常に苦しい現状であると聞きます。</p> <p>私の「塩田庁舎の有効活用」について、下記要望をお願い致します。</p> <p>市が考えておられる、子育て・高齢者サロン・介護予防・健康づくりの拠点の活用は、是非進めてください。</p> <p>「塩田庁舎の有効活用」を子供・青少年及び成人まで、活用出来る合宿所を作って頂きたい。杵藤地区の身近にスポーツ等、皆さんが教育・育成及びコミュニケーションを図る場所の合宿所が見当たらない。</p> <p>小学生の野球・サッカー初め、中・高校生の野球・サッカー・陸上競技・柔道など、また、県内一周駅伝の合宿に大いに活用できると考えます。</p> <p>使用料金は、市内の小・中・高及び市内チームなどは、安く抑さえ、市外以外の使用も歓迎する。市外以外の使用料金は、少し高めに設定しては如何かと考えます。</p> <p>使用料金だけでの運営は厳しいと思いますので、子供・青少年育成のために、市財政より予算を付けて頂き、嬉野市に生まれ育ってよかったと、思える「塩田庁舎の有効活用」を期待いたします。</p>	<p>新庁舎は、機能性や財政面など、この先の時代を見据えた整備を考えていきます。また、塩田庁舎は行政サービスの機能を残しつつ、より利便性が高くなるように市民の皆様からの意見などを取り入れながら検討していきます。庁舎だけの活用だけでなく、塩田庁舎を含めた周辺エリアをゾーニング(用途別に区分)し、地域の特徴を活かしたまちづくりを進めていくことにしています。</p>

番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
4	<p>新庁舎基本構想の説明会に出席した。基本的には良くできている。但し、一般に言われている「箱もの」(ハード面)に重点を置いた「新庁舎ありきの構想」であり、新庁舎を嬉野に持って行く事を念頭に置いた考えからは、これからの社会情勢を十分加味しているか疑問である。</p> <p>社会情勢として挙げられるのは、「高齢化問題」、「少子化による人口減少」等であり、少なくともこの二点について配慮はされているものの、これからの社会に対して十分な施策とは思われない。</p> <p>この対策として、「ICT化」(ソフト面の充実)が必要不可欠となる。ICT化は市長のマニフェストにも挙げてあるが、このことが基本構想には十分反映されていない。具体性を持っていない。</p> <p>その原因が、「新庁舎を本庁とする事ありきの構想」である。確かに現状の嬉野庁舎は、老朽化が進み耐震性が弱いことも理解できる。それ故に、これからの社会情勢を鑑みソフト面を充実させたことを考慮した「ICT化」に特化したセンターが必要であり、これを嬉野庁舎に替える構想を提案する。</p> <p>◇ICT化センター構想についてのメリット</p> <p>①オンライン、テレビ会議システム等を活用し、マイナンバーカード、法人番号、納税番号等での手続きを可能とする業務を拡張する。自宅、スマートフォン、公共施設等での手続きを完了化させることで、庁舎に出向く必要がなく、電子機器が使用できる高齢者等は移動が不要となることで時間の削減と交通手段の確保の心配が無くなる。庁舎の窓口対応も省力化につながり、今後重要となる人員配置が、相談業務、企画業務へフレキシブルに行えると想定される。</p> <p>②移動手段が確保できない高齢者への対応として、ICT化に慣れていない方向けに移動式窓口の活用も挙げられる。同様に、公共施設として、公民館の活用、及び行政嘱託員の活用も有り得る(行政嘱託員が手続き者のサポートをする)。←課題:ICT化に慣れていない住民に対してのサポート方法は検討する必要はあるが、市役所での検討を期待したい。</p> <p>③オンライン、テレビ会議システム等の充実で、庁舎に出向く必要がなくなれば、嬉野庁舎塩田庁舎等の問題は解決する。</p> <p>④新庁舎として建設費用がハード面の経費が、少子化による人口減少が、市民の税金の負担につながる。ICT化センターとして縮小した建築物が経費の負担を軽減する反面、有効活用範囲が広い。国からの補助もあるが、市民への負担を軽減させることを忘れてはいけない。</p> <p>別添の概要図 参照</p> <p>◇その他 嬉野市庁舎基本構想(案)への意見</p> <p>①防災対策拠点は塩田庁舎では向かない点について  災害対策拠点は水害の場合には、対策拠点に向かない。嬉野は水害の拠点として有効なのは確かであるが、嬉野庁舎も災害には遭わないのかの問題を解決しているものではない。  例)温泉街の大火災等により、対策拠点として機能するか疑問であり、災害対策拠点は二重化しておく必要がある。</p> <p>②1庁舎体制について  ICT化により、バーチャル庁舎とすることで、市民からは1庁舎体制として活用できるようになることと、市役所職員もオンライン機能、テレビ会議機能の充実で場所に関係なく情報の共有ができる仕組みを構築できる。</p>	<p>庁舎整備基本構想(案)は、防災面・行政効率・財政面などの視点から、将来にわたり継続的に使用する市庁舎に関して、市の方向性を示したものです。ICTの進展により時代が目まぐるしく変化していく中、地方自治体における行政運営も大きな転換期を迎えており、特に昨今注目されてきている「自治体DX」は、これからの行政サービスの有り様が大きく変わる可能性を含んでいます。基本構想の次のステップであります基本計画において、ソフト面の視点も取り入れた内容を盛り込んでいくことにしています。</p>

「新庁舎を考える」ICT化イメージ図



番号	ご意見の内容	ご意見に対する対応
5	<p>合併当時、約束ごとで庁舎は塩田に置くとのことで合併されました。 出来れば塩田、久間に近い所へお願いします。 大草野地区はどうでしょう！ 万才地区。</p>	<p>庁舎の位置に関しては、市の総合計画や都市計画を基本としたまちづくり、災害対策、産業振興、新幹線開業など、合併当時から大きく変化している嬉野市を取り巻く状況から判断しています。</p>